

岐阜県の特別支援教育の推進

障害のある幼児児童生徒が、就学前から卒業後まで、
地域の中で力強く生きていくことができるよう、
一人一人の教育的ニーズに応じた教育の推進

現 状

- **養護学校の児童生徒数が増加し
教室不足が深刻化** 平成12年度(1,226人) 平成17年度(1,526人) 5年間で24%増
肢体不自由養護では87%が重複障害
- **障害の重度化・重複化が顕著**
- **自宅からの通学時間が長時間** 片道通学時間60分以上181名14%
- **小・中学校の特殊学級在籍児童生徒の増加** 平成12年度(1,444人) 平成17年度(1,796人) 5年間で24%増
- **高等部における軽度知的障害生徒の増加** 平成12年度(37%) 平成17年度(52%)

子ども・保護者の願い

- **地域の子どもは地域で育てたい**
- **障害種別ごとの学校ではなく、地域の養護学校に通いたい**
- **就学前から卒業後まで、一貫した教育・支援を受けたい**
- **養護学校が地域(小・中学校等)のセンターとして機能して欲しい**
- **職業的自立のための専門教育を受けたい**

一人一人に応じた教育を充実するための環境づくり



地域の中で特別支援教育の核となる養護学校を整備する

基本方針

- 1 **地域ごとに適正配置する (地域化)**
「地域の子どもは地域で育てる」ことを目標に整備
- 2 **多様な障害に対応できる養護学校を整備する (総合化)**
知的障害、肢体不自由、病弱等、どの障害にも対応
- 3 **小・中・高等部の整備により一貫した教育を行う (一貫化)**
すべての養護学校に高等部を設ける
- 4 **地域の特別支援教育のセンター的役割を果たす (センター化)**
小・中学校等への支援(研修・相談・情報提供等)
- 5 **社会的自立のため専門教育を充実する (専門化)**
高等部における職業教育の充実や高等養護学校の新設